

年 組 名前：

水位が低下している河口湖。浮島(奥)は5カ月にわたり地続きとなっている。
＝富士河口湖町



観光ボート、釣り 影響懸念

河口湖(富士河口湖町)の水位が低下し、六角堂のあふり島が9カ月にわたり南岸と地続きになっている。春先に低下した水位は梅雨時に回復することが多いが、8月に入ってから基準水位からマイナス3.5メートル以下となっていて、地続きとなる目安を下回る状態が続いている。6、7月の河口湖の降水量が平年を下回り少雨となったことが要因とみられる。町内の貸しボート業者や農家は対応を急ぎ、漁協関係者はワカサギ釣りへの影響を懸念する。

県富士・東部建設事務所吉田支所によると、22日現在の水位は基準のマイナス3.54メートル、過去5年の8月の平均水位よりも1メートル以上低い。記録が残る1998年以降で、8月に基準水位からマイナス3.5メートル以下となるのは2017年以来4度目。浮島と地続きになる目安は基準水位からマイナス2.6メートル、3月下旬頃から地続きの状態が続いている。

甲府地方気象台によると、河口湖の6月の降水量は82.5ミリで平年値(157.1ミリ)の半分程度、7月は142.0ミリで平年値(178.4ミリ)の8割程度に留まる。同支所は「水位が上がらないのは降水量の少なさが原因とみられる」としている。

町内の貸しボート業者「KBH河口湖ボートハウス」は水位低下により、ボートが湖底に接触して破損することを懸念、例年の休みシーズンには8隻で営業しているが、今夏は5隻に減った。大町観光代表(51)は「台数が減れば待ち時間が長くなる。お客さんが帰ってしまい、利益が出にくくなるかもしれない」と不安を口にする。

稲作の水の確保にも影響があった。同町河口ではポンプ小屋までくみ上げた水を用い、小規模で水が不足しているが、水位低下の影響で小屋まで水が届かない事態が発生。河口総合土地改良区は9月、工事をして追加のポンプを設置し、田んぼに水が行き渡るようにした。同改良区の駒谷栄理事は「水が届かず工事をするのは約10年ぶり。工事をしたのは約10年ぶり」と話した。

漁協関係者からはワカサギ釣りへの影響を懸念する声がある。河口湖漁協によると、浮島付近などはワカサギの産卵場所、水位低下により産卵に適した場所が減少している。水位が低下すると水が温まりやすくなり、水温は現在、例年よりも2度ほど高い27～28度となっている。ワカサギは暑さ弱く、30度を超すと命に関わるという。河口湖漁協の外川新吉理事は「現時点で目立った影響はない」としつつ「水位低下と水温上昇のダブルパンチだ。このままの状態が続いて10月から始まるワカサギ釣りに影響が出ないか心配」と話した。

河口湖水位3.5メートル低下

降水量少なく六角堂5カ月地続き

(2025年8月24日付 山梨日日新聞 23面)

問1 河口湖の水位が低下しています。その要因を教えてください。

.....

問2 水位の低下によって、すでに影響がでていることを2つ教えてください。

.....

.....

問3 今後、ワカサギ釣りへの影響を懸念する声も上がっています。水位低下以外に、なにをなぜ、心配していますか。

・なにを： ・なぜ：